

令和元年12月6日

智頭町議会議長 大河原 昭 洋 様

智頭町議会議員 國本 誠一
河村 仁志
高橋 達也
大藤 克紀
岩本 富美男
谷口 雅人
岸本 眞一郎
酒本 敏興
大河原 昭洋

議員派遣結果報告書

令和元年9月20日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 派遣名

鳥取県町村議会議員研修会

2. 目的

町村議会議員等を対象に、その職務遂行に必要な知識・情報を提供し、もって議会の使命の達成並びに地方自治の振興発展に寄与することを目的として開催される研修会に参加することにより、今後の議員活動に資する。

3. 派遣場所

東伯郡三朝町大瀬999番地2 「三朝町総合文化ホール」

4. 期 日

令和元年11月18日

5. 内 容 等

(1) 開会あいさつ

会長 湯梨浜町議会議長 秦 伊知郎 氏

(2) 研 修

ア. 議会改革の到達点と課題 ～「住民自治の根幹」としての議会を作動させる～

講 師：山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏

イ. 日本の政局・政治の行方

講 師：時事通信社 解説委員 山田 恵資 氏

(3) 閉会あいさつ

副会長 八頭町議会議長 谷本 正敏 氏

6. 所 感 等

2元代表制＝機関競争主義では、首長に対して追認や対立ではなく、政策競争をする議会になること。つまり、閉鎖的な議会から、住民に開かれ、参加を促進し、住民とともに歩む議会となり、質問・質疑だけでなく議員間討議を重視することで、それを首長に対しての監視や政策提言に生かし、最終的に住民福祉の向上に生かすとのことだった。

住民自治の根幹は議会であるとの再認識を求める江藤教授の講演は、何度聞いても論理的で、地方自治法の細部まで熟知された解説に、議会人のさらなる研鑽の必要性を強く感じた。

また、無投票は民主主義の危機であることから、それを回避するために、まずどのような議会、議員像を目指すのかというイメージを持つことが大切であるということ、一つひとつ要因を分析することで議会・議員の魅力を向上させることがなり手不足解消の起点となるということ、住民の信頼を得る活動こそが、議員報酬の増額等の条件整備につながるということであった。

本町では報酬等の審議会が立ち上がり、議員定数も含め議論が進められているが、答申を受けて最終的には議会で結論を導き出すことになる。仮に議員報酬を増額、定数は削減という答申が出されても、これは別の論理であるということをも十分認識して、現在の議員のためだけではなく、若者や女性等、多様な住民が将来議員になりやすく活動しやすくなるような視点で考えていかなければならないと改めて感じた。

山田氏の講演では、どこかで見聞きした名前と思っていたが、地元紙に隔週月曜日で掲載される政治情勢の囲み記事に不定期に寄稿されている方で、当日の記事も同氏によるものであった。

最近の中央政界の情勢をもとに、自身の見立てによる今後の政局の流れなどを解説された。本研修会では、毎年1人は政治担当記者経験者による講演が行われているが、議員の立場からは関心のある内容である。